

学校と地域を結ぶ

栃木県では、平成26年4月から栃木県内全公立学校に地域連携教員が設置されています。



- ①地域ぐるみの防災訓練「災害発生時を想定した地域の方による炊き出し」（宇都宮市立一条中学校）
- ②地域の保存会による文化と伝統の伝承「奈佐原文楽クラブの指導」（鹿沼市立北押原小学校）
- ③近隣の高校（真岡北陵高校）と連携し、小学生と高校生と一緒に農園活動（真岡市立大内西小学校）
- ④地域ボランティアの方々と落ち葉掃き（栃木市立大平中学校）
- ⑤矢板市「福祉まつり」での中学生による介助ボランティア（矢板市立片岡中学校）
- ⑥学校と地域の協働による行事「箒川リフレッシュ大作戦」（那須塩原市立塩原小中学校）
- ⑦学校ボランティア出前市「ふれあい学習会」での水鉄砲づくり（足利市立名草小学校）
- ⑧近隣小学校と協働した稲刈り体験（県立矢板高等学校）
- ⑨PTA対象研修会 親学習プログラム「思春期の子どもとの関わり方」（県立栃木特別支援学校）

新しい学習指導要領では、

学校と社会の連携・協働がより求められています

～社会に開かれた教育課程の実現～

「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にし、社会との連携・協働によりその実現を図っていくことが求められています。